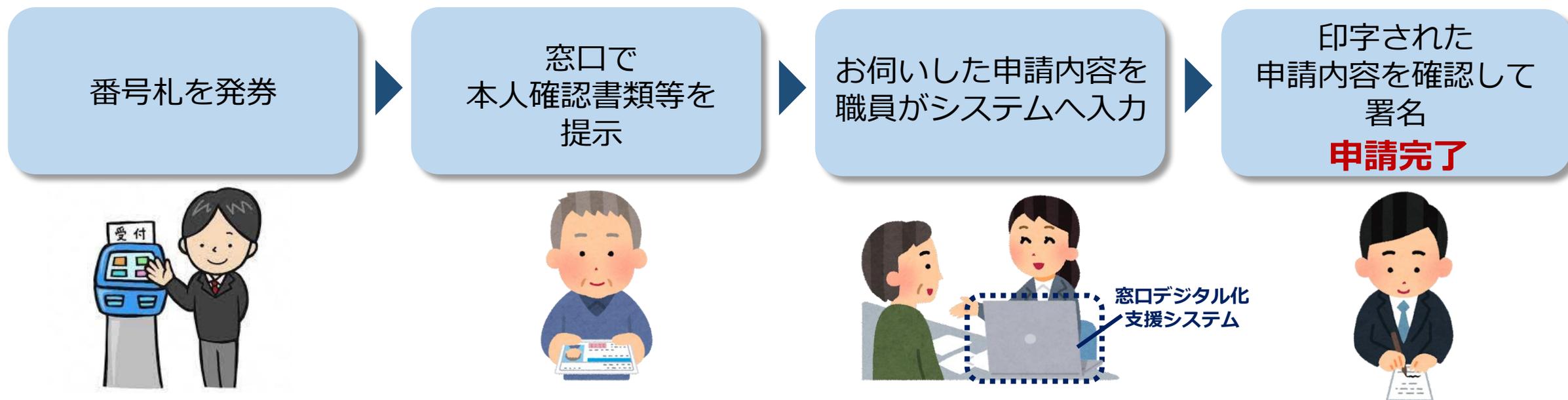


令和5年6月より「書かない窓口」をスタートします！

住民サービスの向上と窓口業務の効率化を目的に
市民課窓口で「書かない窓口」を開始します。

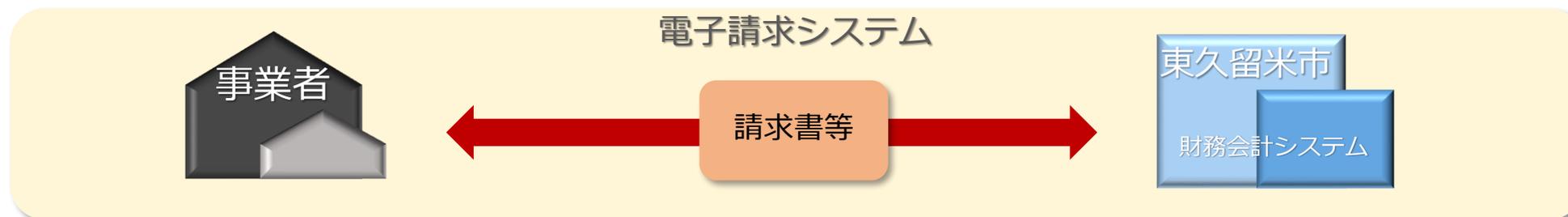


職員の受付業務を支援する窓口デジタル化支援システムを窓口カウンターに導入・活用することで

来庁者にとっては **書かない・かんたん・スピーディに**
職員にとっては **業務効率化に**

事業者と市をつなぐ電子請求システムを導入します！

ポイント① 事業者と市の請求書等のやりとりが **かんたん・スピーディ**に

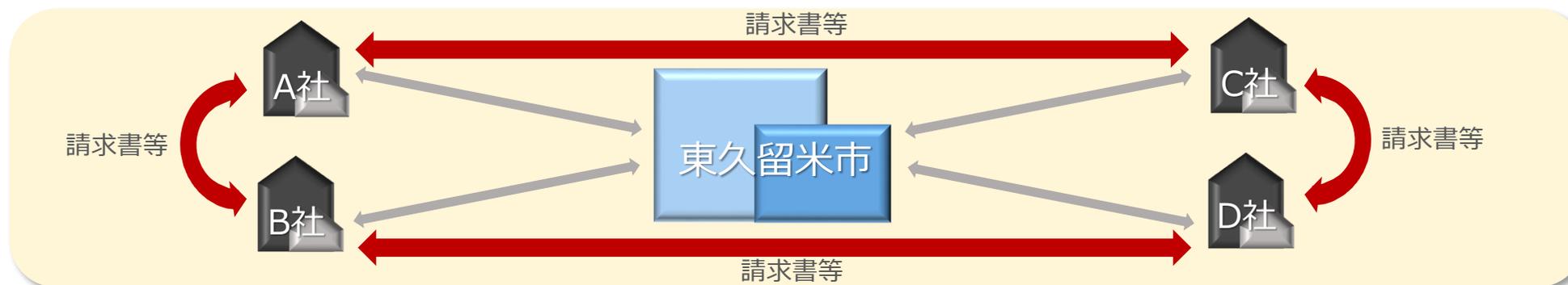


請求書等を作成する際の
事務負担やコストの軽減

事業者と市の双方にメリット

財務会計システムと連携することで、
会計処理に関する事務負担を軽減

ポイント② 事業者同士でも請求書等のやりとりが可能に

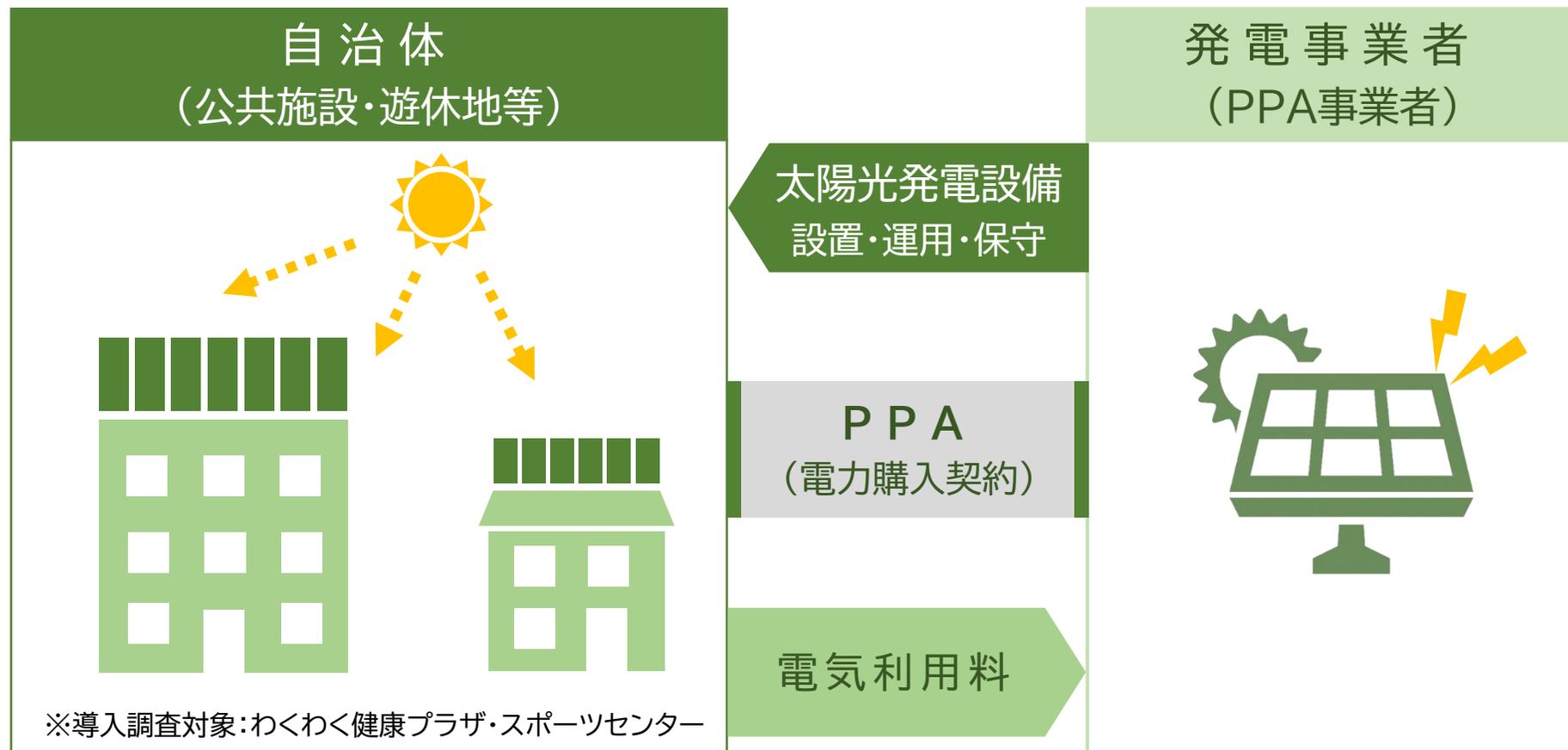


システムを活用した地域社会のデジタル化に寄与

ポイント③ 国の**デジタル田園都市国家構想交付金**を活用予定

PPAモデル(環境省モデル自治体)

- 環境省のモデル自治体となり、PPAモデル導入の調査・研究を行う
- 初期投資ゼロで地域に再生可能エネルギーを導入できる
- 維持管理を事業者が実施するため維持管理費用が発生しない
- 蓄電池との併用で災害時のBCP対策になる



- 本市が現在取り組んでいるVPPによる本庁舎非常用電源整備
- 太陽光発電パネル、蓄電池、EV、既設の非常用発電機などから構成
- 外部からの電力供給が途絶えた際に、非常用電源として必要個所へ電力を供給
- 平常時には太陽光発電とともに、ピークカットなどのエネルギーマネジメントを行う

市長車・議長車のEV化



- 令和5年度に市長車・議長車をEV化し、環境負荷を軽減
- VPP機能による電力供給
- 非常用電源としても利用可能

本庁舎非常用電源(VPP機能)

